

令和8年4月吉日

「伝統の『シンカ』」 ～共に創る学校をめざして～

刈谷市立刈谷南中学校長

尾 本 国 博



令和8年度は、263名の新入生を迎え、全校生徒786名でスタートしました。新年度のスタートを迎えるにあたり、廊下を無言で雑巾がけしている生徒、教室の飾り付けをしている生徒など、心を込めて新1年生のために準備をする3年生の姿があり、心強く感じました。

入学式、生徒会長からは「伝統を『シンカ』させたい」との言葉がありました。『シンカ』には「進化」「深化」「真価」などのいくつかの意味があることを伝えてくれました。

本校には「無言清掃」という伝統の取組があり、4月には、3年生が1年生に「無言清掃伝達式」として、清掃の方法とともに、「床と向き合い、真剣に取り組むと自然に無言になる」という込められた思いを伝えています。3年生が1年生に、真剣に教える姿を見て、伝統を継承する大切さを感じました。先輩方から受け継いできた思いを大切にし、さらに、今の自分たちに合った新しいもの（新風）を加えながら、よき伝統をシンカさせましょう。

また、本校は、教育活動の中で『共創』という言葉大切にしています。授業や学校行事等を共に創り上げていくという意味です。そのために、さまざまな立場や多様な考えをもった人の思いを理解しようとしたり、その思いを傾聴しながらよりよい方向性を導き出したりする活動に力を入れています。令和6年度には、体育大会の見直しを行いました。生徒会が中心となり、各委員会がそれぞれの役割を果たす中で、学校生活をよりよいものにしてほしいと願っています。すべての生徒が、南中での学校生活を通して、社会で活躍してほしいと切に願っています。

結びになりますが、常によりよいものを目指し、考え行動する生徒、その生徒を支え、学校にご理解とご協力をいただける保護者の皆様、生徒を温かく見守る地域の皆様等、多くの人に支えられて今の環境が創り出されていることに感謝し、今後も温かな学校づくりに尽力したいと思います。